

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 ディプロマ・ポリシー

【知識・理解】

- ・農・林生産とそれを取りまく生産環境、及び人とくらしを取りまく自然環境に関連する専門的知識と実践的技術を修得し、持続可能な生産・発展、環境保全及び循環型社会の概念を理解している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 生産環境の利用と自然環境との関連を理解している。
2. 農業・林業の生産環境に関連する専門的知識と実践的技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 社会に生きる人間として必須な一般的教養を広く修得している。
2. 自然環境の現状と持続可能な発展の意義を理解している。

【思考・判断】

- ・身につけた知識を活用して、農林資源環境科学の最新の成果を理解することができる。
- ・データに基づいて客観的、かつ、論理的に考察し、修得した知識や技術を、問題解決のために正しく活用して適切な結論を導くことができる。

〔論理的思考力〕

1. 収集した資料・データ等に対して、独自の視点や他者とは異なる着眼点を持つことができる。
2. 様々な問題について、俯瞰的に問題を分析することができる。
3. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 農業および林業の生産環境等の実情から課題を設定できる。
2. 設定した課題について、原因を探りながら解決へ向かう思考力を身につけている。

【技能・表現】

- ・日本語及び英語による表現力、理解力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション・ディベート能力を修得しており、異分野を含む様々な人と農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができる素養を身につけている。
- ・実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、データの収集と整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。

2. 外国語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。
3. 農林資源環境学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔表現力〕

1. 他者に対して自分の考えを正確に口頭等で伝えることができる。
2. 考え方や立場が異なる他者との意見交換や議論を行うことができる。
3. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
4. 実験・調査結果などをまとめ、その成果を発信するために、科学技術レポートを作成することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 他者との意見交換や議論をもとに、合意形成へ至ることができる。
2. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 農林資源環境科学に関する知識を積極的に求め、主体的に自ら問題解決にあたらうとする意欲をそなえている。
- ・ 技術者・研究者として備えるべき責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献しようとする態度をそなえている。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。
3. チーム全員がそれぞれ役割を担うことができるように配慮し、一体的な行動をできるように運営することができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能を理解し、自らそれらを得るための行動を起こすことができる。
2. 他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。

2. 未来の社会を担う立場で、人間社会と地球および地域の自然に対して負う責任を正しく理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 農業・林業に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。
2. 農業・林業の生産環境の整備とその利用について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

農林海洋科学部 農芸化学科 ディプロマ・ポリシー

【知識・理解】

- ・幅広い教養と生物生産に関係する化学を基盤とした幅広い知識と技術を身につけ、的確な理解力を有している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 農芸化学に関する幅広い知識と技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 専門的知識や技能などの背景となる文化・歴史・自然についての知識を修得し、自らの専門領域との関係を理解している。

【思考・判断】

- ・動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などに関する多面的な知識の生物生産への応用について、化学的な思考や手法に基づいて深く探求できる素養を身につけ、適切な判断ができる。

〔論理的思考力〕

1. 農芸化学における課題に対し、化学的な思考に基づいて適切に考察することができる。
2. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 化学的な思考や手法に基づいて農芸化学における課題を設定できる。

【技能・表現】

- ・化学的視点から生物生産を幅広く探究するために必要となる実験技術・研究手法を修得している。
- ・日本語による表現力及び英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション・ディベート能力を修得しており、異分野を含む様々な人と農芸化学分野に関連した意見交換ができる素養を身につけている。
- ・生物（植物・動物・微生物）、生物が生産する物質、及び生態系に関わる材料を用いた実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、データの収集と整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 農芸化学に関する課題解決に必要な情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。
2. 英語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。

〔表現力〕

1. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
2. 農芸化学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 化学的視点から生物生産を幅広く探究し、その成果を地域社会への貢献に結びつけることについて強い関心を持ち、的確な判断に基づいて問題を解明しようとする意欲を有している。
- ・ 地域社会及び国際社会の健全な発展に寄与しようとする態度を有し、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能や他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
2. 農芸化学に関する知識、手法を用いて地域社会及び国際社会へ貢献しようとする態度と意欲を有し、それを実践することができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。
2. 地域社会、国際社会の健全な発展に対する責任と役割を理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 農芸化学に関わる研究者・技術者として、持続可能な社会に貢献できる。
2. 農芸化学に関する課題について関係する人々と協力して改善していくことができる。

農林海洋科学部 海洋資源科学科 ディプロマ・ポリシー

【知識・理解】

- ・「海洋資源」の問題について、多面的な視点から理解することができる知識と技術を有している。
- ・海洋資源の管理に関する知識、海洋法規など人文社会的な観点を有している。
- ・海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけている。

〔専門分野に関する知識〕

1. 海洋生物生産、海底資源環境、海洋生命科学に関する専門的な知識を修得している。
2. 海洋資源および海洋資源管理に関連する専門的知識と実践的技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 社会に生きる人間として必須な一般的教養を広く修得している。
2. 海洋資源およびその管理について、その意義を理解している。

【思考・判断】

- ・海洋資源の有効活用による持続的社会の創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる知識と技術を有している。

〔論理的思考力〕

1. 収集した資料・データ等に対して、独自の視点や他者とは異なる着眼点を持つことができる。
2. 様々な問題について、俯瞰的に問題を分析することができる。
3. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 海洋資源およびその管理について、その実情から課題を設定できる。
2. 設定した課題について、原因を探りながら解決へ向かう思考力を身につけている。

【技能・表現】

- ・日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。
- ・異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。
- ・得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。
- ・「海洋資源」に関して生物学、化学、地学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の

提示の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。
2. 外国語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。
3. 海洋資源科学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔表現力〕

1. 他者に対して自分の考えを正確に口頭等で伝えることができる。
2. 考え方や立場が異なる他者との意見交換や議論を行うことができる。
3. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
4. 実験・調査結果などをまとめ、その成果を発信するために、科学技術レポートを作成することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 他者との意見交換や議論をもとに、合意形成へ至ることができる。
2. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関する理解と利用について強い関心と意欲を持っている。
- ・地域社会及び国際社会のなかでの技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。
3. チーム全員がそれぞれ役割を担うことができるように配慮し、一体的な行動ができるように運営することができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能を理解し、自らそれらを得るための行動を起こすことができる。
2. 他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

できる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。
2. 未来の社会を担う立場で、人間社会と地球および地域の自然に対して負う責任を正しく理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 海洋資源科学に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。
2. 海洋資源および海洋資源管理について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

■海洋生物生産学コース

【知識・理解】

- ・「海洋生物資源」の問題について、特に生物学、化学及び水産学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。
- ・「海洋生物資源の管理」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な観点と自然科学的な観点の両面から総合的に知識を有している。
- ・海洋生物資源の管理に不可欠な知識や手法を身につけている。

〔専門分野に関する知識〕

1. 海洋生物生産に関する専門的な知識を修得している。
2. 海洋生物資源および海洋生物資源管理に関連する専門的知識と実践的技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 社会に生きる人間として必須な一般的教養を広く修得している。
2. 海洋生物資源およびその管理について、その意義を理解している。

【思考・判断】

- ・海洋生物資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる知識と技術を有している。

〔論理的思考力〕

1. 収集した資料・データ等に対して、独自の視点や他者とは異なる着眼点を持つことができる。
2. 様々な問題について、俯瞰的に問題を分析することができる。

3. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 海洋資源およびその管理について、その実情から課題を設定できる。
2. 設定した課題について、原因を探りながら解決へ向かう思考力を身につけている。

【技能・表現】

- ・日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。
- ・異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識それを活用できる技術を有している。
- ・得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。
- ・「海洋生物資源」に関して特に生物学、化学及び水産学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。
2. 外国語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。
3. 海洋資源科学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔表現力〕

1. 他者に対して自分の考えを正確に口頭等で伝えることができる。
2. 考え方や立場が異なる他者との意見交換や議論を行うことができる。
3. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
4. 実験・調査結果などをまとめ、その成果を発信するために、科学技術レポートを作成することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 他者との意見交換や議論をもとに、合意形成へ至ることができる。
2. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・「海洋生物資源」及び「海洋生物資源の管理」に関する理解と利用について強い関心と意欲を持っている。

- ・地域社会及び国際社会のなかでの技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。
3. チーム全員がそれぞれ役割を担うことができるように配慮し、一体的な行動ができるように運営することができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能を理解し、自らそれらを得るための行動を起こすことができる。
2. 他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。
2. 未来の社会を担う立場で、人間社会と地球および地域の自然に対して負う責任を正しく理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 海洋生物生産に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。
2. 海洋生物資源および海洋生物資源管理について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

■海底資源環境学コース

【知識・理解】

- ・「海底資源」とそれを取りまく海洋環境の問題について、特に地学、化学及び物理学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。
- ・「海底資源の管理」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な観点と自然科学的な観点の両面から総合的に知識を有している。
- ・「海底資源の管理」に不可欠な知識や手法を身につけている。

〔専門分野に関する知識〕

1. 海底資源環境に関する専門的な知識を修得している。

2. 海洋資源および海洋資源管理に関連する専門的知識と実践的技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 社会に生きる人間として必須な一般的教養を広く修得している。
2. 海洋資源およびその管理について、その意義を理解している。

【思考・判断】

- ・「海底資源」の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる柔軟な知識と技術を有している。

〔論理的思考力〕

1. 収集した資料・データ等に対して、独自の視点や他者とは異なる着眼点を持つことができる。
2. 様々な問題について、俯瞰的に問題を分析することができる。
3. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 海洋資源およびその管理について、その実情から課題を設定できる。
2. 設定した課題について、原因を探りながら解決へ向かう思考力を身につけている。

【技能・表現】

- ・日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。
- ・地域社会や国際社会など異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。
- ・得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。
- ・「海底資源」に関して特に地学、化学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。
2. 外国語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。
3. 海洋資源科学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔表現力〕

1. 他者に対して自分の考えを正確に口頭等で伝えることができる。

2. 考え方や立場が異なる他者との意見交換や議論を行うことができる。
3. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
4. 実験・調査結果などをまとめ、その成果を発信するために、科学技術レポートを作成することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 他者との意見交換や議論をもとに、合意形成へ至ることができる。
2. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・「海底資源」の探査や開発及び「海底資源」の管理に関する理解、利用、保全について強い関心と意欲を持っている。
- ・地域社会及び国際社会のなかで、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。
3. チーム全員がそれぞれ役割を担うことができるように配慮し、一体的な行動ができるように運営することができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能を理解し、自らそれらを得るための行動を起こすことができる。
2. 他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。
2. 未来の社会を担う立場で、人間社会と地球および地域の自然に対して負う責任を正しく理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 海底資源環境学に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。

2. 海底資源および海底資源管理について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

■海洋生命科学コース

【知識・理解】

- ・「海洋生物」とその産生する代謝産物に関して、特に化学、生物及び物理学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。
- ・「海洋生物」と「化学物質」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な観点と自然科学的の両面から総合的に知識を有している。
- ・「海洋生物と化学物質の管理」に不可欠な知識や手法を身につけている。

〔専門分野に関する知識〕

1. 海洋生物と化学物質に関する専門的な知識を修得している。
2. 海洋生物と化学物質の管理に関連する専門的知識と実践的技術を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 社会に生きる人間として必須な一般的教養を広く修得している。
2. 海洋生物資源と化学物質の管理について、その意義を理解している。

【思考・判断】

- ・「海洋生物と化学物質」の有効活用による持続的社会の創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる柔軟な知識と技術を有している。

〔論理的思考力〕

1. 収集した資料・データ等に対して、独自の視点や他者とは異なる着眼点を持つことができる。
2. 様々な問題について、俯瞰的に問題を分析することができる。
3. 修得した専門的知識を現実の生産現場の実情にあてはめて考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 海洋生物と化学物質の管理について、その実情から課題を設定できる。
2. 設定した課題について、原因を探りながら解決へ向かう思考力を身につけている。

【技能・表現】

- ・日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。
- ・地域社会や国際社会など異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。
- ・得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、

ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。

- ・「海洋生命科学」に関して特に化学、生物学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報を的確に整理・集約し、これに基づいて自らの考えを取りまとめることのできる能力と技術を修得している。
2. 外国語のドキュメントを読み、その内容を理解する読解力を修得している。
3. 海洋資源科学に関する学修・研究の成果を、適切な語学・情報処理に関する手段を用いて、的確に表現することができる。

〔表現力〕

1. 他者に対して自分の考えを正確に口頭等で伝えることができる。
2. 考え方や立場が異なる他者との意見交換や議論を行うことができる。
3. 得られたデータや資料を整理し、これらに基づいて自分の考えをまとめ、第三者にわかりやすく提示することができる。
4. 実験・調査結果などをまとめ、その成果を発信するために、科学技術レポートを作成することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 他者との意見交換や議論をもとに、合意形成へ至ることができる。
2. プレゼンテーションやディベートを通して、異分野を含む多様な他者との意見交換を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・「海洋生物」の生命現象と有用化学資源の探索や開発及び「有用化学物質」の生産管理について強い関心と意欲を持っている。
- ・地域社会及び国際社会のなかで、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

〔協働実践力〕

1. 分野や立場の異なる他者との協働の重要性を理解している。
2. チームを構成する一員としての自らの役割を適切に判断し、責任ある行動ができる。
3. チーム全員がそれぞれ役割を担うことができるように配慮し、一体的な行動をできるように運営することができる。

〔自律力〕

1. 自身に不足している知識・技能を理解し、自らそれらを得るための行動を起こすことができる。

2. 他者との協働の重要性への理解を踏まえた上で、自らの不足を補う努力を自発的に行うことができる。
3. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 持続可能な社会に貢献可能な科学・技術の発展のあり方を考えることができる。
2. 未来の社会を担う立場で、人間社会と地球および地域の自然に対して負う責任を正しく理解している。
3. 文献・資料の引用など、研究倫理に則って研究することができる。

【統合・働きかけ】

1. 海洋資源科学に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。
2. 海洋生物と有用化学物質の管理について、関係する人々と協力して改善していくことができる。